

五分館だより

第77号

豊丘村公民館
第五分館
編集／社会部
印刷／燦プランニング

堀越の今日

平成23年5月現在
戸数 83戸
人口 327人
(男157 女170)

一般救命講習会を終えて

西部自治会長 西元俊男

昨年の自治会年度末総会の折に、救命講習会を行つたらと提案が有り、消防署に伺い申請を行いました。三月十九日に自治会所に於いて二十五名が出席し、高森消防署員による心肺蘇生法又AEDを用いた除細動を資料に従い講義を受けその後ダミー人形を使い、全員が一分間心臓が止まった人間を想定し人工呼吸、胸骨圧迫を体験しました。又AED機器の操作方法も体験しました。堀越区でも今年度AEDを設置するよう申請をしたいと思っています。この機器を使用しながら心肺蘇生法と平行して行うことにより助かる可能性が上がると思います。去る三



ギョーザ作り講習会

中宮自治会



中宮婦人会では、三月二十一日に久保田志保さんをお願いして、手作りギョーザ講習会を行いました。最初は、皮を丸く薄くのばす事や具を包んで形を整える事が難しかったのですが、こつを教えていただき上手にできるようになりました。たくさん出来たので家に持ち帰り家族も味わう事ができました。久保田さんに教えていただいたギョーザは、市販の物に比べ皮が厚くとてもモチモチしておいしかったです。我が家でも孫もいっしょ

に楽しく作る事ができました。普段は、それぞれ忙しく皆で集まる事ができないので、ギョーザ作りを通して会話もでき、有意義な時間を過ごすことが出来ました。また、この様な機会がつかれたら良いと思います。



月十一日には東日本大震災がおき大勢の犠牲者が出ていたことは今日もまだ報道されています。当地区においては東海地震が叫ばれ又交通事故等もいつおきてもおかしくない状態に有ります。救急車が到着するのに飯田下伊那地区は、約八分と言われ堀越は十分かかるそう、それまでの救命処置が非常に大切です。この講習会を終って改めて命の尊さを実感しました。

日本には四季があり、その季節ごとに変化に富んだ楽しみがあります。でも、やはり昼長袖のシャツ一枚で過ごせる、今の時期が一番気持ちの良い季節だと感じます。そして、風薫る季節をもっと楽しみたかったのに、梅雨に入ったとのニュースが。例年よりも十二日も早いなんて、これも異常気象なんでしょうか。梅雨とは中国の言葉で、梅の実の熟す頃の雨、またカビのはえる雨の季節、黴雨(ばいう)からきたともいわれているそうです。雨の風情を愛する文化をもつ日本人。うつとうしい季節といいながら、昔の人は賢く生活し、実はその楽しみ方も知っていたのでしようね。東日本大震災から三ヶ月近く経ち、毎日福島第一原発事故のニュースを耳にします。そして静岡県御前崎市の浜岡原発が全面停止に遠くない将来、起こるだろう東海地震を予測すれば、影響を受ける住民の事を考えれば当然の事だと思っています。今年の夏は、電力不足が予想されます。この夏の節電目標は十五%。本気で節電を意識しなければいけない事態になりました。浴びるように電氣を使ってきた生活を改めなければ。昔からの日本の生活の中には、涼をとる知恵が詰まっています。うまく取り入れ自分の分にあつた暮らしで節電につながればと思います。

米山 由美子

神楽保存会が村へ災害義援金を届ける

今年の神楽の練習は、東日本大震災等の直後に始つたので、間もなく「保存会で災害義援金を出したらどう」という声が聞かれる用になりました。そこで皆で協議したところ、「会計に余剰金が出たら一部を義援金に充てよう」と意志統一ができました。

その後、獅子の巡回先の皆様にも過分なる心遣いを頂戴することができたこと、また、会員の協力により飲食費等を例年に比べ縮減す



義援金を手渡す西元保存会長

ることができたことが実り、決算で応分の災害義援金を捻出し、過日役場へ届けました。有意義な取り組みができたことに感謝致します。

昭和三十六年三月十三日村内先がけて、寿生会が発足した。四月二十五日記念祝賀式典が催された。

村より吉川村長、社協大澤会長、村老連より原一會長各位のご来席を始め会員五十名余の出席のもと盛大に挙行されました。

五十年と云うが長い年月である。当時発起人の松村鶴見、堀本許良両氏を始め初代会長日下部兵八郎氏、

前寿生会長 武田長年

副会長河野桃恵氏、庶務松村笹之進氏と記録にありま

す。

会員総勢六十余名村内発足初と云うところに意義がありす。

当時は会員増勢のため六十才になると入会を推進して戸毎を廻る田島吉計氏が記憶に残ります。生みの努力があつたことかと伺えます。一つの会が始まると老人憲章を老人の章と社会の

発展を願って八ヶ条を高唱します。又、年に二回の公共施設の除草と、清掃を辻々の花木の手入れ等を行い近頃は胡桃沢線の一五〇米にわたり水仙の球根を会員持ち寄りで植え付け花一杯運動を作り上げました。

今尚豊饒として九十三才第八代会長西元敏計氏の当時の話を聞くことが出来ました。何事も盛大に行われ、施設等へも足を運んでの熱心な活動もこなしたのと。副会長松村義久氏、副田島君江氏、林華子氏等。紙面の都合で筆を置きますが又の機会に投稿致します。

西元俊男

平成23年度 第五分館事業計画

- 6月5日(日) 桜の手入れ・草刈り
- 7月3日(日) グランド整備
- 7月17日(日) 球技大会
- 7月30日(土) 納涼祭
- 8月15日(月) 分館対抗球技大会
- 9月4日(日) 桜の手入れ・草刈り
- 9月19日(月) マレットゴルフ大会
- 11月3日(水) 区民運動会
- 2月 日() 公民館学習会(本館)
- 3月6日(日) 美化運動

花桃とサツキを植樹

米山清隆

胡芝景観を考える会が発足して今年では二年目を迎えます。今年は毎月二十五日の税金集会の時に、活動の計画を確認し合い意見を出し合って活動しています。今取り組んでいる具体的な活動ですが、花桃とサツキの手入れを行っていきます。これは昨年の年末に区長さんより村の『自ら作る地域づくり事業交付金』のお話を聞き、早速計画書を村へ提出した結果、村より花桃十本とサツキ二十本の苗木を支給して頂きました。早速四月十三日の日曜日午前中に、メンバーが集まって胡桃沢線の沿線に植え付けしました。現在は月に一回植木周りの草取り作業や肥料をやるなどの管理を行っています。これから気候も暖かくなり、雑草が成長し管理が大変になると思います。



胡桃沢線へサツキの植樹作業



会所前へ花桃の植樹作業

最後に、メンバー十四名があまり力まず、小さなことから一歩一歩地道に、継続した活動が続けていきたいと思います。

平成23年度第五分館予算書

収入計金 1,717,679

支出計金 1,717,679

差引残金 0

収入の部

項目	22年度予算額	23年度予算額	差引増減	備考
前年度繰越金	83,665	174,679	91,014	
区より助成金	800,000	900,000	100,000	
本館より助成金	443,000	443,000	0	戸数86戸
本館事業助成金	90,000	90,000	0	納涼大会
本館事業助成金	45,000	0	-45,000	文化祭
本館事業助成金	0	110,000	110,000	運動会
貯金利息	0	0	0	
諸収入	0	0	0	
収入計金	1,461,665	1,717,679	256,014	

平成22年度第五分館決算書

収入計金 1,548,761

支出計金 1,374,082

差引残金 174,679

収入の部

項目	22年度予算額	22年度決算額	差引増減	備考
前年度繰越金	83,665	83,665	0	
区より助成金	800,000	800,000	0	
本館より助成金	443,000	443,000	0	戸数86戸
本館事業助成金	90,000	90,000	0	納涼大会
本館事業助成金	45,000	45,000	0	文化祭
3Lビール販売5本	0	7,000	7,000	盆球技大会・マレット
区社会より助成金	80,000	80,000	0	文化祭
貯金利息	0	96	96	
収入計金	1,541,665	1,548,761	7,096	

支出の部

項目	22年度予算額	23年度予算額	差引増減	備考
地域美化運動	75,000	75,000	0	
自治会対抗球技大会	125,000	130,000	5,000	
納涼大会	200,000	200,000	0	
各種大会参加費	40,000	40,000	0	
文化・学習活動費	5,000	5,000	0	
育成会助成金	30,000	30,000	0	
分館だより制作費	100,000	100,000	0	年4回発行(5・9・12・3月)
グループ活動助成金	180,000	170,000	-10,000	
区民運動会	0	350,000	350,000	
備品購入費	5,000	5,000	0	
事務・会議費	90,000	90,000	0	
役員手当	368,000	368,000	0	分館長60,000 主事34,000 役員20,000×12
役員反省会費	50,000	50,000	0	
公民館補償保険	55,000	55,000	0	
グラウンド整備費	15,000	15,000	0	
本館役員交流会費	30,000	30,000	0	
文化祭	90,000	90,000	-90,000	
予備費	3,665	3,665	1,014	
支出計金	1,461,665	1,717,679	256,014	

支出の部

項目	22年度予算額	22年度決算額	差引増減	備考
地域美化運動	75,000	49,382	-25,618	
自治会対抗球技大会	125,000	107,758	-17,242	
納涼大会	200,000	183,418	-16,582	
各種大会参加費	40,000	28,000	-12,000	
文化・学習活動費	5,000	0	0	
育成会助成金	30,000	30,000	0	
分館だより制作費	100,000	100,000	0	年4回発行(5・9・12・3月)
グループ活動助成金	180,000	170,000	-10,000	
備品購入費	5,000	5,000	-5,000	
事務・会議費	90,000	68,022	-21,878	
役員手当	368,000	368,000	0	分館長60,000 主事34,000 役員20,000×12
役員反省会費	50,000	50,000	0	
公民館補償保険	55,000	51,735	-3,265	
グラウンド整備費	15,000	7,298	-7,702	
本館役員交流会費	30,000	31,500	1,500	
文化祭	170,000	128,869	-90,000	区社会と共催
予備費	3,665	0	-3,665	
支出計金	1,541,665	1,374,082	-167,583	